

熊本・観光文化検定公式テキストブック 続編 正誤表

- 63ページ、4段、18行目～19行目(●望月信亨氏編著)

(誤)いまその南大門は地名として残り、バス停もあります。

(正)いまその南大門は地名として残っています。

※現在はバス停が無くなっています。

- 128ページ、2段、9行目

(誤)4年6ヵ月

(正)4年3ヵ月

熊本・観光検定公式ガイドブック正誤表

◎対象「初版～第1版10刷」

- 98ページ、4段、4行目(●細川ガラシャ)

(誤)明智光秀の二女で細川忠興の妻。

(正)明智光秀の三女で細川忠興の妻。

◎対象「初版～第1版8刷」

- 26ページ、4段、10行目～12行目(●下流域(城南町～河口))

(誤)水前寺、江津湖に端を発する加勢川と合流し、水量は毎秒4,000トンにも達します。

(正)水前寺、江津湖に端を発する加勢川と合流し、河口流域は県下有数の水量を誇ります。

- 179ページ、4段、16行目～(●古坊中)

(誤)37坊51庵の堂坊

(正)37坊51庵(36坊52庵という説もある)の堂坊

- 222ページ、1段、4行目～(●肥後のあか牛物語り)

(誤)阿蘇清峰高校→(正)阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎

※2010年に阿蘇高校と阿蘇清峰高校が合併。

- 242ページ、3段、8行目

(誤)農林水産省→(正)緑の文明学会、グリーンルネッサンス、緑の地球防衛基金

◎対象「平成24年8月1日 第1版8刷」以前

全体

- 熊本市と植木町・富合町・城南町との合併に伴い、表記を熊本市に統一。
- 熊本市の政令指定都市移行に伴い、住所表記に区名を追加。

前見返し

- 航空・鉄道など各交通アクセスを最新の情報に更新。
- 20ページ、1段、5行目～
平成の名水百選の4カ所を追加
- 23ページ、3段、15行目(●球泉洞)
(誤)日本第2位 → (正)日本第3位
- 25ページ、1段、3行目(●球磨川)
(誤)延長113キロメートル → (正)延長115キロメートル
- 25ページ、3段、6行目(●白川)
(誤)全長 → (正)延長
- 26ページ、1段、17行目(●菊池川)
(誤)延長61.2キロメートル → (正)71キロメートル
- 54ページ、1段、1行目
(誤)石貫穴観音横穴群 → (正)石貫穴観音横穴
- 71ページ、2段、6行目(●菊地神社歴史館)
(誤)武光の出陣図 → (正)武時の武者絵
- 112ページ、2段、12行目(●ルイス・アルメイダ)
(誤)永禄9年(1567) → (正)永禄9年(1566)
- 113ページ、3段、5～6行目(●天草四郎公園)
(誤)国道206号沿い → (正)国道266号線
- 152ページ、2段、21行目
(誤)水前寺公園内に移築 → (正)水前寺公園近くに移築
- 167ページ、右下写真説明、1行目
(誤)曹洞宗泰厳寺 → (正)曹洞宗泰巖寺
- 242ページ、2段目
環境省選定「平成の名水百選」の4カ所を追加
- 256ページ
熊本県博物館連絡協議会加盟館を最新の情報に更新。
【熊本県立美術館ホームページより】

索引

- 259ページ、2段、31行目
(誤)寺尾温泉 → (正)寺尾野温泉
- 260ページ、1段、15行目
(誤)白川滝 → (正)白水滝
- 261ページ、2段、22行目
(誤)祇園橋 → (正)祇園橋

■262ページ、1段、20行目

(誤)江津土唐 → (正)江津塘

後見返し

■熊本市町村マップを最新の情報に更新。

■各市町村役場の住所・連絡先を最新の情報に更新。

◎対象「平成22年6月1日 第1版7刷」以前

- 12ページ、大観峰、4行目
(誤)昭和7年 → (正)大正11年
- 12ページ、大観峰、5行目
(誤)徳富蘇峰 → (正)徳富蘇峰
- 16ページ、梅の木轟公園つり橋、2行目
(誤)116メートルの県内最長のつり橋 → (正)116メートルのつり橋
- 22ページ、マゼノ溪谷、4行目
(誤)教本の河川 → (正)数本の河川
- 33ページ、戸馳島、1行目
(誤)三角半島 → (正)宇土半島
- 37ページ、2段13行目
(誤)千家 → (正)千家家
- 39ページ、踏歌節会、5行目
(誤)駕籠丁 → (正)駕輿丁
- 40ページ、柄漏流神事、1行目
(誤)駕籠丁 → (正)駕輿丁
- 46ページ
(誤)速瓶玉命(はやみたかたまのみこと) → (正)速瓶玉命(はやみかたまのみこと)
- 49ページ、2段
(誤)水島の句碑 → (正)水島の歌碑
- 50ページ、水島、4行目
(誤)約一世紀 → (正)数世紀
- 57ページ、軍事と行政機能を持つ城、1行目
(誤)白村江(はくすきえ) → (正)白村江(はくすきのえ)
- 62ページ、2段9行目
(誤)城泉寺(明導寺) → (正)城泉寺(浄心寺)
- 69ページ、1段
(誤)元弘元年(1331) → (正)元弘2年(1332)
- 71ページ、菊池神社、3行目
(誤)以来25代 → (正)以来24代
- 71ページ、雲上宮
※雲上宮の読み方 → (正)うんじょうぐう(くものへぐう)
- 72ページ、聖護寺、11行目
(誤)林素道 → (正)村上素道
- 72ページ、2段8行目
(誤)武敏の多々浜合戦 → (正)武敏の多々良浜合戦
- 72ページ、3段4行目
(誤)松尾中佐は菊池出身です。 → (正)松尾中佐の像が菊池神社にあります。

- 79ページ、兜梅伝説、5行目
(誤)兜の**鏝**が梅の枝に → (正)兜が梅の枝に
- 79ページ、梅北の乱、1行目
(誤)天正**20**年 → (正)文禄元年
- 85ページ、地図上の記載文字
(誤)戌玄櫓 → (正)戌玄櫓
- 86ページ、山伏塚、1行目
(誤)地鎮祈? → (正)地鎮**祈禱**
- 89ページ、1段2行目
(誤)賊ヶ岳の戦 → (正)賤ヶ岳の戦
- 89ページ、1段4行目
(誤)肥後藩国 → (正)肥後半国
- 90ページ、1段3行目
(誤)船中で病死、 → (正)船中で発病し、**帰国後歿しました。**
- 92ページ、清正の母と側室の墓、10行目
(誤)本覚院の墓 → (正)本覚院**月心日円の墓**
- 96ページ、3段6行目
(誤)忠利を主神として → (正)忠利、**重賢**を主神として
- 97ページ、甲佐の(鮎)やな場
(誤)梁 → (正)築
- 99ページ、叢桂園、6行目
(誤)「来者不拒 去者不**遂**」 → (正)「来者不拒 去者不**逐**」
- 100ページ、日輪寺、3行目
(誤)松下邸 → (正)松平邸
- 103ページ、民謡「キンキラキン」、3行目
(誤)キンキラとは「錦綺羅」 → (正)キンキラキンとは「錦綺羅錦」
- 104ページ、櫓とロウソクの振興、8行目
(誤)「櫓方**役所**」 → (正)「櫓方**会所**」
- 105ページ、干拓、新地
(誤)大鞆樋門(**おおざや**ひもん) → (正)大鞆樋門(**おざや**ひもん)
- 106ページ、肥後古流、9行目
(誤)この三家は代々細川家の茶頭役を務めてきており、現在でも世俗に迎合することなく古風の茶を伝えています。
(正)現在でも世俗に迎合することなく古風の茶を伝えています。
- 106ページ、永青文庫、9行目
(誤)かつて細川邸があった東京文京区目白台にあり、一般公開されています。
(正)平成20年4月からは熊本県立美術館に「細川コレクション永青文庫展示室」がオープンし、所蔵品の一部が常時展示されることになりました。
- 108ページ、3段12行目
(誤)三斎が残した**泰勝寺跡** → (正)三斎が残した**泰勝院跡**
- 109ページ、春光寺、3行目
(誤)法名(春光**寺**)にちなみます。 → (正)法名(春光**院**)にちなみます。

- 109ページ、春光寺、9行目
(誤)高浜虚子をはじめとする → (正)高浜虚子**親子三代**をはじめとする
- 110ページ、引導石、1行目
(誤)泰勝**寺**へ向う → (正)泰勝**寺跡**へ向う
- 111ページ、島田美術館、4行目
(誤)特に武蔵**関連**の収蔵で知られています。
(正)特に武蔵**肖像**や**武蔵所用の刀剣**など多くの**遺品**、**書画**など**武蔵関連**の収蔵で知られています。
- 114ページ、富岡城復元、1行目
(誤)慶長**7**年 → (正)慶長**9**年
- 122ページ、4段、5行目
(誤)氷川町には氷川に薩摩**蹟**が。 → (正)氷川町には氷川に薩摩**蹟**が。
- 132ページ、重盤岩眼鏡橋、8、10行目
(誤)**三五郎** → (正)**三平**
- 137ページ、4段8行目
(誤)熊本**協同隊**の → (正)熊本**隊**の
- 140ページ、3段5行目
(誤)**結局**、**薩摩は** → (正)**薩摩主力は**
- 140ページ、4段、写真説明
(誤)**菊池川畔**に建つ西郷小兵衛の碑 → **繁根川畔**に建つ西郷小兵衛の碑
- 144ページ
(誤)**戊辰戦争** → (正)**戊辰戦争**
- 146ページ、籠城跡、3、5行名
(誤)谷干城**司令官**、種田**司令官** → (正)谷干城**司令長官**、種田**司令長官**
- 148ページ、年表内記載
(誤)2月20日 **民権等** → (正)2月20日 **民権党**
- 149ページ、1段7行目
(誤)**古い社** → (正)**若宮神社**
- 149ページ
(誤)若宮神社の西郷碑 → (正)**徳富蘇峰の揮毫になる**若宮神社の西郷碑
- 157ページ、熊本バンドのメンバーたち、7行目
(誤)**萩原惟郭** → (正)**蔵原惟郭**
- 158ページ、2段6行目
(誤)文**録**2年 → (正)文**禄**2年
- 158ページ、4段8行目
(誤)帰途は別の道、**通称地獄坂をだらだらと**下ってくると
(正)帰途は別の道を下ってくると
- 160ページ、林桜園、1行目
(誤)**寛永10年(1789)** → (正)**寛政10年(1798)**
- 164ページ、豪潮、4行目
(誤)比叡山で修学後、**専福寺** → (正)比叡山で修学後、**寿福寺**
- 164ページ、2段4行目

(誤) 現鹿本高校 → (正) 現鹿本商工高校

■164ページ、3段6行目

(誤) 明治6年 → (正) 大正6年

■165ページ、宮部鼎蔵、9行目

(誤) 吉田松蔭 → (正) 吉田松陰

■175ページ、1段11行目

(誤) とつさに髪を切り → (正) とつさに髻を切り

■176ページ、2段14行目

(誤) 「望郷の詩」の詩碑 → (正) 「望郷子守歌」の詩碑

■177ページ、蔵原伸二郎、2行目

(誤) 昭和40年(1995) → (正) 昭和40年(1965)

■182ページ

(誤) 出水神社 → (正) 出水神社(いずみじんじや)

■184ページ、玉名大神宮、8行目

(誤) 玉名大神宮の巫女・玉世姫 → (正) 玉世姫

■186ページ、市房神社、5行目

(誤) 「お嶽さん詣り」 → (正) 「お嶽さん詣り(おたけさんまいり)」

■189ページ、1段7行目

(誤) 拳兵しましたが残敗。 → (正) 拳兵しましたが惨敗。

■191ページ、2段

(誤) 清正に従って、守り神として熊本城に2匹の霊狐が熊本城稲荷神社に、細川忠利に従ってきた狐が高橋稲荷神社に祀られたとされています。稲荷神社の神の使いが狐なのは狐の尻尾が稲の穂に似ているからといいます。

(正) 神社の起源は、高橋稲荷は隈本城主の鹿子木親貞が上代に出城を築いた時に守り神として京・伏見から稲荷大明神の分霊を祀ったのが起源。熊本城稲荷と花岡山稲荷は、加藤清正を将来立派な武将となると見込んで滋賀から移り住んだ兄弟の白狐の霊狐物語があります。

■193ページ、古墳祭、2行目

(誤) 船山古墳前 → (正) 江田船山古墳前

■196ページ

(誤) 十五夜綱引き(旧暦8月15日)(八代市)

八代市日奈久で、毎年旧暦8月15日(十五夜)に行われる祭り。七町内の青少年が綱を引いて町内を走り、最後に温泉センター前広場で町内対抗の綱引き大会が観光客と一緒に行われます。

(正) 温泉神社・十五夜綱引き(旧暦8月15日)(八代市)

孝子浜田六郎が父の平癒を祈り、神夢によって日奈久温泉を発見した御神徳を仰ぐために湯の神市江杵島姫命を祭神として祀られています。旧暦8月15日(十五夜)には町内対抗の綱引きが中心地の温泉神社一帯で行なわれます。

■197ページ、3段1行目

(誤) 風流(ふうりゅう) → (正) 風流(ふりゅう)

■199ページ、八代妙見祭、6行目

(誤) 塩井八幡宮 → (正) 塩屋八幡宮

- 200ページ、肥後神楽、4行目
(誤)十二座で**横成**される → (正)十二座で**構成**される
- 201ページ、二瀬本夜渡神楽、5行目
(誤)エリ**モノ** → (正)エリ**モン**
- 206ページ
(誤)吉丸良治氏(**前**・県伝統工芸館館長) → (正)吉丸良治氏(**元**・県伝統工芸館館長)
- 211ページ、高田焼、3行目
(誤)**3人の兄弟** → (正)**2人の息子と孫の三家**
- 217ページ、肥後緋、2行目
(誤)**肥後緋**の手法を改良して → (正)**肥後緋**の手法を改良して
- 219ページ、2段8行目
(誤)市内**12**の水源地 → (正)市内**21**の水源地
- 222ページ、1段3行目
(誤)**シンメタール種** → (正)**シンメンタール種**
- 227ページ、3段8行目
(誤)腹赤の贅も今日**備ふ**なり → (正)腹赤の贅も今日**供ふ**なり
- 231ページ、4段2行目
(誤)**表門とともに**、国指定主要文化財 → (正)**表門、化学実験場とともに**、国指定重要文化財
- 232ページ、八千代座、5行目
(誤)明治44年(**1991**) → (正)明治44年(**1911**)
- 233ページ、三角西港、5行目
(誤)**700**メートル → (正)**730**メートル
- 234ページ、大鞆樋門、6行目
(誤)**群築**二番町 → (正)**郡築**二番町
- 249ページ、1段12行目
(誤)**伴**団右衛門 → (正)**塙**団右衛門
- 253ページ、三角港西港完成
(誤)一八**九七** 明治**三十** → (正)一八**八七** 明治**二十**
- 254ページ、双子塚古墳
(誤)0968-36-**3111**(**山鹿市鹿央総合支所**) → (正)0968-36-**2151**(**熊本県立装飾古墳館**)
- 254ページ、竹迫城跡公園
(誤)096-**248-1111**(合志市) → (正)096-**242-1104**(合志市**都市計画課**)
- 254ページ、大水車天轟丸、天草西海岸、大江天主堂
(誤)0969-**42-1111**(天草市**天草支所総務振興課**) → (正)0969-**23-1111**(天草市**観光課**)
- 255ページ、日本一の石段
(誤)0964-**47-1111** → (正)0964-**46-1111**
- 255ページ、南阿蘇ビジターセンター・阿蘇野草園

(誤)09676-2-0888 → (正)0967-62-2111

■255ページ、グリーンロード南阿蘇

(誤)096-279-3111 → (正)0967-67-1111

■257ページ、的石

(誤)40 → (正)42

■257ページ

(誤)宮崎八郎 → (正)宮崎八郎・滔天

■261ページ

(誤)木下奎太郎 → (正)木下奎太郎

◎対象「平成18年12月20日 第1版4刷」以前

■11ページ、2段、7行目

(誤)第7火口孔 → (正)第1火口孔

■37ページ、中段、1行目及び46ページ

※速瓶玉命のふりがな (正)はやみかたまのみこと

■44ページ、上段、5行目、国造神社

(誤)霊元12年 → (正)寛文12年

■68ページ、上段、11行目

(誤)(1069) → (正)(1070)

■85ページ、地図上の記載文字

(誤)櫓方門 → (正)櫓方門

■110ページ、2段、2行目

(誤)(90グラム) → (正)(750グラム)

■115ページ、上段、6行目、大江天主堂

(誤)明治8年 → (正)昭和8年

■140ページ、下段、写真説明

(誤)西郷小兵衛の墓 → (正)西郷小兵衛の碑

■149ページ、うんちく本文4行目

(誤)鳥津家 → (正)島津家

■191ページ、下段、2行目

(誤)高さ40センチ程 → (正)高さ30センチ程

■192ページ、上段、7行目

(誤)裸一つになって鏡ヶ池に → (正)禪一つになって鏡ヶ池に

■205ページ、うんちく本文3行目

(誤)恒武天皇 → (正)桓武天皇

■214ページ、中段、南蛮てまり1行目

(誤)芯は木鞆で、 → (正)芯は木綿で、

■218ページ、中段、8行目

(誤)改良・発明や暗梁排水を → (正)改良・発明や暗渠排水を

◎対象「平成18年10月25日 第1版3刷」以前

■12ページ、上段、6行目

(誤)オルゴール共和国 → (正)オルゴール響和国

■15ページ、上段、4～5行目

(誤)ペトグラフ → (正)ペトログラフ

■92ページ、中段、15行目

(誤)妙光寺 → (正)妙永寺

■129ページ、下段、船場橋、2行目

(誤)幅メートル → (正)幅3.7メートル

■191ページ、下段、鮎取神事、2行目

(誤)宿弥(すくね) → (正)宿祢(すくね)

■227ページ、下段、1行目

(誤)和鋼年間 → (正)和銅年間

■234ページ、上段、龍驤館、3行目

(誤)頌徳記念館 → (正)頌徳記念館

■234ページ、中段、大鞆樋門、9行目

(誤)樋が建っています → (正)碑が建っています

■242ページ、下段、日本の渚百選、3行目

(誤)キリシタンの黒崎津 → (正)キリシタンの里崎津

■252ページ、年表、1行目、5行目

(誤)水前寺成就園 → (正)水前寺成趣園

(誤)堀平太左右衛門 → (正)堀平太左衛門

※「第1版4刷」以降の出版では訂正されています。

◎対象「平成18年9月20日 第1版2刷」以前

■124ページ、日向往還、下段、18行目

(誤)備前屋は寛永3年、藩主齊茲が → (正)備前屋は寛政3年、藩主齊茲が

■148ページ、[西南の役年表]内、7月31日

(誤)差土原 → (正)佐土原

■152ページ、上段、7行目

(誤)横井小楠のおい・太平 → (正)横井小楠のおい・大平

■172ページ、上段、2行目

(誤)八雲、漱石が熊本着任第一歩を → (正)漱石が熊本着任第一歩を

■236ページ、くまとの建築美、10行目

(誤)48のプロジェクトがいま → (正)60を超えるプロジェクトがいま

■242ページ、日本の滝百選

(正)鹿目の滝(人吉市) ※追加

※「第1版3刷」以降の出版では訂正されています。

◎対象「平成18年9月1日 初版」

■16ページ、国見山

(誤)国見山(1,721メートル) → (正)国見山(1,271メートル)

■45ページ、青井阿蘇神社2行目

(誤)大同2年(807)の創建 → (正)大同元年(806)の創建

■67ページ、4段12行目

(誤)今の水俣～川内経由の鹿児島本線はまだなかった。その肥薩おれんじ鉄道は八代から美しい球磨川に沿って人吉へ。

(正)肥薩線と名をかえた明治の路線は八代から美しい球磨川に沿って人吉へ。

■112ページ、3段1行目

(誤)志岐麒麟泉(しききせん) → (正)志岐麟泉(しきりんせん)

■150ページ、4段最終行

(誤)ぬまやまず(※ルビずれ) → (正)ぬやまず

■170ページ、2段1行目

(誤)笠松公園(約3.7メートル) → (正)笠松公園(約3.7キロメートル)

■196ページ、

(誤)随兵行列(9月第3日曜日) → (正)随兵行列(9月第3月曜日)

※「第1版2刷」以降の出版では訂正されています。

誤りがありましたことに深くお詫び申し上げます。

内容に差しさわりの無い誤字・脱字等ここでは掲載しておりません。

また、皆様のご意見を基に、よりよりテキストブックをつくって参りますので、ご感想・ご意見等ございましたらご連絡頂けますようよろしくお願いいたします。